

モニタリング結果報告書 (2018年度)

1. 施設概要

施設名	三ツ池公園		
所在地	横浜市鶴見区三ツ池公園		
サイトURL	http://www.kanagawaparks.com/mitsuike/		
根拠条例	神奈川県都市公園条例（昭和32年神奈川県条例第7号）		
設置目的(設置時期)	公共の福祉の増進（昭和32年4月）		
指定管理者名	三ツ池公園パートナーズ		
指定期間	H27. 4. 1～R4. 3. 31 (2015年) (2022年)	施設所管課	都市公園課

2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応	
<p>利用状況がB評価、利用者の満足度がA評価、収支状況がB評価となり、3項目評価の結果はBとなった。 本公園は桜の季節に来園者が集中することから、利用者数は気候などの影響が大きい。特に30年度は年度当初のサクラの開花が早まり、前年度3月にシーズンを迎えたため、大幅な減となった。一定の利用者数を安定的に確保するためには閑散期も含めた通年の集客力によるため、公園のポテンシャルを活かした一層の利用促進などに努めてもらいたい。</p>	
<p><各項目の詳細説明></p> <p>◆管理運営等の状況 ・閑散期の他公園との連携イベントにより、960人の参加を得る等の一定の成果は得られたが、更なる充実や工夫が望まれる。水辺環境については、外来種を2万匹以上駆除したが、水質改善のエア曝気は未実施であり、総合的な対策の実施が望まれる。</p> <p>◆利用状況 ・サクラの開花が早まったため、前年度3月の利用者数は好調であったが、今年度4月が大幅に減となり、目標達成率は89%で、B評価となった。前年度比は78%となっている。</p> <p>◆利用者の満足度 ・2ヵ月ごとに実施し、上位2段階の回答割合が79%のためA評価となったが、美観の維持に関する不満が目立つため、実施時期や頻度の工夫を要する。</p> <p>◆収支状況 ・利用者数が減少したことにより、駐車場及び有料施設収入の減となり、収支比率が97%となったため、B評価となった。過年度から駐車台数は減傾向であり、構造的な課題である。</p> <p>◆苦情・要望等 ・猫への餌やり禁止と容認を求める背反する要望を受け、活動ルールの作成を進め、多様な公園利用への対応を図っている。</p> <p>◆事故・不祥事等 ・6/9に、脇見運転による自転車利用者同士の衝突事故が発生した。利用実態から自転車走行の禁止は困難なため、走行時の注意喚起に留まっているが、走行レーンや時間制限等のすみわけの検討も必要である。</p> <p>◆労働環境の確保に関する取組状況 ・県による監査、労働基準監督署からの指摘事項はない。</p> <p>◆その他 ・2018年度の3項目評価はB評価とした。今後は、閑散期の利用者増に向けた取組みを充実し、より快適な利用環境を提供する等、利用者増への取組みにも努めてもらいたい。</p>	
B	<p>S：極めて良好 A：良好 B：一部改善が必要 C：抜本的な改善が必要 ※3項目評価とは、3つの項目（利用状況、利用者の満足度、収支状況）の評価結果をもとに行う評価をいう</p>

3. 月例・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	3月、11月	集計が遅れたため。
現場確認	実施日	特記すべき事項があった場合はその内容
	適宜	
随時モニタリングにおける指 導・改善勧告等の有無	有・ 無	指導・改善勧告等の内容

4. 管理運営等の状況

[指定管理業務]

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
ナノハナやコスモス等の大修 景やアジサイによる池の修 景、モミジ類の紅葉を楽しむ コース設定により、季節の見 どころをつくる。	6、9、11月に複合イベント 期間として実施。魅力の創出 を図った。期間中のイベント 参加人数は63,921人であっ た。	計画どおり実施され た。来園者数の多い 桜の開花期を補完す る更なる魅力づくり が望まれる。
水辺の環境づくりとして、外 来種駆除や生き物調べを行 う。	上の池において、4～10月の 計12回、アメリカザリガニ等 の防除活動を実施。延べ 3,764人の参加により、 24,795匹を捕獲した。	計画どおり実施され た。今後は、総合的 な水辺環境づくりの 検討を進めることが 望ましい。
健康プログラムとして、体力 測定やウォークラリー、ヨ ガ、グラウンドゴルフ教室を 行う。	5月と11月にイベントを実 施、高齢者向けの入門、体験 会として好評であった。イベ ントの参加人数は48人であ った。	計画どおり実施され た。今後は、高齢者 向けプログラムの充 実や回数拡大が望 まれる。
閑散期(1～3月)の利用者増 を目的に、代表企業が指定管 理業務を行っている他の県立 公園と共同でクイズラリーを 行う。	1～3月に、他の県立3公園 と連携して実施。広域利用の ニーズを掘り起こすことが できた。参加人数は960人 であった。	計画外の取組みだ が、好評であり、リ ピーターやさらなる 掘り起しの工夫が望 まれる。
水質改善のためエア曝気を行 う。	コスト検討を踏まえ、ナノバ ブル発生装置による実施を検 討したが、実施に至ってい ない。	総合的な池の環境づ くりの一環として、 効果的な時期に确实 に実施することが望 まれる。

[参考：自主事業]

事業計画の主な内容	実施状況等
○有料駐車場 ・繁忙期には周辺地域の方々に配慮し交通 誘導員や臨時警備員を配置	臨時を含む3箇所の有料駐車場を運営 した。
○自動販売機 ・利用者ニーズや季節のメニューに応じた 商品の設置	園内各所に設置した19台の飲み物等の 自販機設置を継続した。
○売店 ・「下の池売店」の設備の更新と利便向上	菓子類や飲み物等を販売する売店を1 箇所増やし、2箇所の売店を運営し た。

5. 利用状況

評価	<<評価の目安>> 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。
B	社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）があれば記載してください。

	前々年度	前年度	2018年度
利用者数※	1,288,545	1,652,476	1,291,316
対前年度比		128.2%	78.1%
目標値	1,375,000	1,405,330	1,447,000
目標達成率	93.7%	117.6%	89.2%

目標値の設定根拠： 提案書記載目標値

利用者数の算出方法（対象）： 駐車場利用台数(普通、大型、二輪)に一定の率を乗じ、天候(晴れ、曇り、雨)により補正

※ 原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由 _____

6. 利用者の満足度

評価	≪評価の目安≫ 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う
A	

満足度調査の実施内容	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
	指定管理者による簡易アンケートは通年、詳細アンケートは年2回実施	本報告書では、県による休日3回、平日3回の計6回調査の結果を使用する。園路や広場等の除草、園路等の清掃を精力的に進めた。花壇の実施範囲を広げた。

[サービス内容の総合的評価]

質問内容 _____ 公園の管理運営状況を総合的にみるといかがでしたか。

実施した調査の配布方法 利用者に直接配布 回収数/配布数 113 / 113 = 100.0%

配布(サンプル)対象 _____ 公園利用者

	満足	どちらか といえば 満足	どちらで もない	どちらか といえば 不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
サービス内容の総合的評価の回答数	56	34	10	10	3	113	除草の遅れや不足、花壇の工夫、トイレ清掃の不足
回答率	49.6%	30.1%	8.8%	8.8%	2.7%		
前年度の回答数	58	37	1	4	2	102	
前年度回答率	56.9%	36.3%	1.0%	3.9%	2.0%		
回答率の対前年度比	87.2%	82.9%	902.7%	225.7%	135.4%		

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

7. 収支状況

評価	≪評価の目安≫ 収支差額の当初予算額：0円の施設が該当 収入合計/支出合計の比率が S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満
B	

[指定管理業務]

(単位:千円)

		収入の状況				支出の状況	収支の状況		
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入 の主な内訳	収入合計	支出	収支差額	マイナス収支の 縮減率 ※
前々 年度	当初 予算	71,043	13,220	44,463	駐車場 39,296 自販機 5,167	128,726	128,726	0	
	決算	71,043	12,204	44,941	駐車場 38,839 自販機 6,102	128,188	128,782	-594	99.54%
前年 年度	当初 予算	71,043	13,220	45,351	駐車場 39,296 自販機 5,167	129,614	129,614	0	
	決算	71,043	12,074	50,033	駐車場 38,839 自販機 6,102	133,150	132,311	839	100.63%
2018 年度	当初 予算	71,043	13,220	46,257	駐車場 40,882 自販機 5,375	130,520	130,520	0	
	決算	71,043	11,941	42,604	駐車場 36,730 自販機 5,874	125,588	128,972	-3,384	97.38%

※収支差額の当初予算額-収支差額の決算額/収支差額の当初予算額

<備考>

8. 苦情・要望等 該当なし

分野	報告件数	概要	対応状況
施設・設備	電話 1件	排水作業でテニスコートが使えないとのことだったが使用している人がいて不公平だ。	作業が早く終わった際は、使用できることを案内することとした。
職員対応	口頭 2件	混雑時の駐車場への案内が不正確で、入場ができなかった。	駐車場内と案内者とタイムリーに情報交換することとした。
事業内容	手紙 1件	池の水質や外来植物の除去をする取組みをして欲しい。	水質浄化の検討や外来種の駆除も進めている。
その他	口頭 1件	園内での猫の餌やり(TNR活動)を認めて欲しい。	活動ルールをつくり、他の利用者への周知を図ることとした。

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

9. 事故・不祥事等 □ 該当なし

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
6月9日	①主園路上で、自転車同士が衝突、左後頭部を強打し出血、来園者の通報で搬送。 ②6/9：事故発生場所を確認。 ③全治1ヵ月（10針）、CT検査で異常なし、自転車利用者への注意喚起掲示を設置。 ④園内に市道が存在するため、自転車の通行禁止措置ができない。 ⑤目撃者から、走行スピードはゆっくりしていたため、双方の前方不注意。 ⑥無。
6月26日	①主園路から踏み外して法面に転倒、擦過傷と打撲を負った。来園者の通報で搬送。 ②6/26：事故発生現場を確認。 ③相手方連絡先不明のため経過は不明、指定管理者が園路沿いに簡易柵を設置。 ④無。 ⑤園路端部と周辺との高低差があったが、草で埋もれて視認ができない状況。 ⑥無。
3月9日	①多目的広場に隣接する主園路歩行者（幼児連れ）の頭部にサッカーボールが当たった。 ②3/12：事故発生現場を確認（利用団体から指定管理者への報告が3/12）。 ③親から大事に至らなかった旨の連絡が利用団体代表者にあった（3/9）。 ④野球場と同様のフェンス設置の要望が利用団体から寄せられる。 ⑤競技場ではない広場内での競技に伴うボールの飛び出し。注意喚起看板の設置。 ⑥無。

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事に関して改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

10. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。